

## 論文作成法 (2単位)

担当者氏名 全専攻教員

### ◆学習・教育目標

研究成果を論文として公表する過程の経験と実績の評価を目的とする。発表成果が学術上、どの程度の価値があるかの判断、それに見合う投稿雑誌の選定、投稿規程に合わせた論文の作成、カバーレターの作成、査読結果に対する対応など一連の過程、すなわち論文受理掲載までの手法などを学ぶ。

### ◆取り扱う領域（キーワードで記載）

情報整理

論文執筆

専門用語

図表作成

査読対応

### ◆授業の進行等について

	テーマ	内容	授業のねらいまたは準備しておく事項
第 1-5週	投稿に対する意識指導と理解	試験により見出した成績（成果）内容を明確にするとともに、その成果の科学的な正当性と学術的な価値について判断する。	成果と関連情報とを照らし合わせて客観的に成績の価値判断を行う能力を身につけさせる。
第 6-10週	論文作成と推敲	成果を的確に示す図表の作成と投稿規定に準じた本文の執筆に取り組み、指導教員の添削等を受ける。	論旨の通った論文作成の手法を修得させる。
第 11-15週	投稿と査読結果への対応	カバーレター等を作成し、投稿する。受理までの査読結果への対応を行う。	成果を公表するプロセスとそれに伴う責任を理解させる。

### ◆教科書及び資料〔授業日に読んでおくべき本・資料〕

書名／著者／発行所（発行年）

関連学会誌

### ◆授業をより良く理解するために便利な参考書・資料等

書名／著者／発行所（発行年）

### ◆評価の方法（レポート・小テスト・試験・課題等のウェイト）

筆頭著者として論文を投稿し、受理された場合に単位を認定する。

### ◆その他受講上の注意事項

本講義の履修に関しては指導教員と事前に相談するとともに投稿雑誌は査読のある学術雑誌に限定する。